

神皇正統記とて酒井家より京百俵奉寄

附

一地蔵堂

羽源記に云く是曰く及能化寺界壇健那^チ系
著提院の地藏堂とあり今案諸寺々々の
辛部堂を求て死人の著提とて秀衡支那の
石塔^イ光の石先祖為親の石塔ありと曰
記より云く

一能除堂

羽源記に云く是曰能除堂と云くハ上古より
権化の聖者よて邪惡自主聖徳を子の内從
ずあり父ハ伯瀬^イ初の王子とて 崇徳帝
の御子と云ふまよ立ありぬ以て子の御子よて
此堂一々あり此取^イ矣およて偏は夜子の宮
よてありこれを此幼雅の時部（権を）を
これとてを徳と云く一人とて仙境（後
引をより以て十余年を経て後人王二十
一代 敏達天皇の時宇聖徳太子此年十
二の時照勝に乙巳年^イ六月弘海大
徳と名ふて此年に十一とて東海陸奥八